

高山市の広報活動について
～アンケートのまとめ～

令和３年１２月
高山市 広報公聴課

1. はじめに

市では、市民ニーズにあった広報の手法を検討するため、今年度実施した「高山市まちづくりアンケート」において、市政情報の入手手段や広報紙「広報たかやま」の紙面に対する満足度など、市の広報活動に関する意識調査を実施しました。

そのアンケートの回答結果から、本報告書を取りまとめました。

2. 調査の方法

アンケート調査の概要

調査期間 令和3年9月18日～10月20日

調査地域 高山市内全地域

実施方法 郵送による配布、郵送・インターネットによる回答、無記名式

調査対象 18歳以上の市民、3,000人

抽出方法 令和3年6月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出

回収結果 発送数3,000人に対して、回収数1,396人（回収率46.5%）

3. アンケート結果

「高山市まちづくりアンケート」の中で、広報に関するアンケートは問4から問7までで、各集計結果を紹介します。

この報告書における回答率は、 $\text{回答率} = \text{回答数} / \text{標本数}$ により算出しています。各集計における割合は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が必ずしも100%とならない場合があります。また、2つ以上の回答を求めたものについての合計値は100%を超える場合があります。

- 1 市に関する情報の入手方法 4ページ
- 2 媒体別の利用状況 7ページ
- 3 知りたい市の情報 9ページ
- 4 広報全般への意見 11ページ

標本の構成

		件数 (件)	構成比 (%)
性別	男性	607	43.5
	女性	729	52.2
	無回答	60	4.3
年齢	10・20代	92	6.6
	30代	131	9.4
	40代	191	13.7
	50代	221	15.8
	60代	272	19.5
	70代以上	468	33.5
	無回答	21	1.5
居住地域	高山地域	901	64.5
	東地区	69	4.9
	西地区	78	5.6
	南地区	105	7.5
	北地区	151	10.8
	山王地区	132	9.5
	江名子地区	57	4.1
	新宮地区	96	6.9
	三枝地区	38	2.7
	大八地区	87	6.2
	岩滝地区	10	0.7
	花里地区	78	5.6
	丹生川地域	61	4.4
	清見地域	32	2.3
	荘川地域	28	2.0
	一之宮地域	45	3.2
	久々野地域	57	4.1
	朝日地域	33	2.4
	高根地域	12	0.9
	国府地域	116	8.3
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	52	3.7
	無回答	59	4.2

		件数 (件)	構成比 (%)
家族構成	単身世帯	156	11.2
	夫婦のみ	352	25.2
	二世代世帯 (うち中学生以下の子と同居)	552 (177)	39.5 (12.7)
	三世代世帯 (うち中学生以下の子と同居)	283 (182)	20.3 (13.0)
	その他(※1)	16	1.2
	無回答	37	2.7
職業	農林畜産業	60	4.3
	自営業	140	10.0
	会社員・公務員・団体職員	462	33.1
	パート・アルバイト・内職	229	16.4
	家事従事者	93	6.7
	学生	15	1.1
	無職	346	24.8
	その他(※2)	28	2.0
定住年数	無回答	23	1.7
	1年未満	22	1.6
	1年以上～5年未満	47	3.4
	5年以上～10年未満	46	3.3
	10年以上～20年未満	105	7.5
	20年以上	1,165	83.5
	無回答	11	0.8
居住形態	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	1,191	85.3
	借家(アパート含む)	161	11.5
	間借	0	0.0
	社宅・寮	28	2.0
	その他(※3)	7	0.5
	無回答	9	0.6
「その他」の内容 ※1 兄弟と同居、四世代世帯 など ※2 会社役員 など ※3 施設入所 など			

1 市に関する情報の入手方法

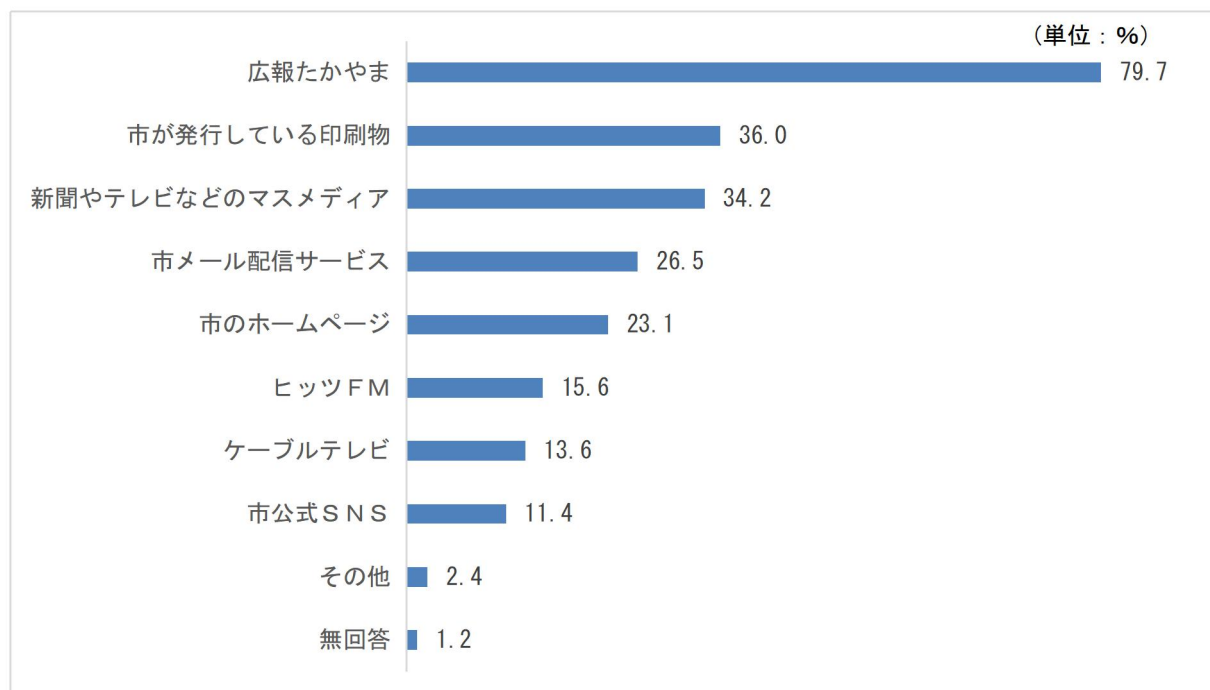
- ・広報たかやまから情報を入手している割合が最も多い。
- ・その他、市が発行するチラシなどの印刷物、新聞やテレビなどのマスメディアから情報を入手している割合が高くなっている。

問4 あなたは、高山市に関する情報（事業や行事、お知らせなど）をどのような方法で入手していますか。（普段、利用している方法に○印※複数回答可）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)
1	広報たかやま	1,112	79.7
2	市が発行している印刷物（チラシなど）	502	36.0
3	新聞やテレビなどのマスメディア	478	34.2
4	市メール配信サービス	370	26.5
5	市のホームページ	322	23.1
6	ヒッツFM（「シティガイド」など）	218	15.6
7	ケーブルテレビ（「ハイ、市役所です」など）	190	13.6
8	市公式SNS（LINE・Twitter など）	159	11.4
9	その他	34	2.4
	無回答	17	1.2
	計	3,402	

（標本数：1,396件）

- ・その他としては、「知人・友人の口コミ」や「ブログ」などがあつた。



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		92	131	191	221	272	468
市の情報の入手方法（％）	広報たかやま	54.3	58.0	72.8	80.5	87.5	88.7
	市が発行している印刷物（チラシなど）	20.7	17.6	20.9	30.8	41.9	49.8
	新聞やテレビなどのマスメディア	29.3	21.4	25.1	32.1	33.1	44.7
	市メール配信サービス	18.5	33.6	38.7	36.2	28.7	15.8
	市のホームページ	30.4	41.2	38.2	32.6	15.4	11.1
	ヒットFM（「シティガイド」など）	13.0	8.4	18.8	14.9	20.6	14.3
	ケーブルテレビ（「ハイ、市役所です」など）	7.6	11.5	15.2	8.6	14.0	17.1
	市公式SNS（LINE・Twitter など）	17.4	26.7	19.4	15.8	8.8	2.6
	その他	3.3	3.8	2.6	1.8	2.2	2.4
	無回答	1.1	0.0	0.5	0.5	1.1	1.7

【年齢別】

- ・年齢が上がるにつれて「広報たかやま」の割合が高くなっている。
- ・30代では、「市のホームページ」と「市公式SNS（LINE・Twitter など）」を合わせた割合（67.9％）が、「広報たかやま」の割合（58.0％）を超えている。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域																					
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区	丹生川地域	清見地域	莊川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛驒温泉郷地域	無回答
標本数（件）		901	69	78	105	151	132	57	96	38	87	10	78	61	32	28	45	57	33	12	116	52	59
市の情報の入手方法（％）	広報たかやま	77.0	66.7	79.5	86.7	78.1	76.5	75.4	70.8	63.2	85.1	90.0	74.4	80.3	90.6	89.3	86.7	94.7	84.8	66.7	88.8	86.5	64.4
	市が発行している印刷物	35.4	29.0	35.9	42.9	30.5	31.8	43.9	26.0	34.2	37.9	30.0	50.0	36.1	50.0	46.4	33.3	40.4	42.4	25.0	41.4	17.3	33.9
	新聞やテレビなどのマスメディア	33.9	24.6	29.5	39.0	39.7	37.9	26.3	32.3	28.9	28.7	40.0	35.9	31.1	37.5	28.6	37.8	43.9	33.3	25.0	37.1	34.6	28.8
	市メール配信サービス	27.0	23.2	30.8	26.7	21.9	31.1	24.6	26.0	36.8	35.6	10.0	20.5	36.1	18.8	7.1	26.7	31.6	15.2	25.0	21.6	21.2	39.0
	市のホームページ	24.5	21.7	20.5	24.8	25.8	31.1	24.6	26.0	31.6	24.1	0.0	15.4	19.7	6.3	35.7	17.8	21.1	18.2	33.3	22.4	9.6	27.1
	ヒッツFM	14.7	15.9	20.5	13.3	19.9	9.8	12.3	14.6	10.5	11.5	10.0	15.4	21.3	18.8	10.7	24.4	22.8	12.1	41.7	19.8	11.5	3.4
	ケーブルテレビ	11.5	11.6	9.0	6.7	11.3	12.1	14.0	7.3	7.9	20.7	60.0	9.0	6.6	12.5	25.0	20.0	29.8	30.3	50.0	19.8	0.0	10.2
	市公式SNS	11.5	14.5	14.1	16.2	9.3	9.1	12.3	11.5	10.5	10.3	10.0	10.3	11.5	9.4	7.1	11.1	21.1	6.1	8.3	9.5	5.8	15.3
	その他	2.9	7.2	0.0	3.8	2.0	2.3	3.5	3.1	0.0	1.1	10.0	5.1	3.3	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.9	1.9	5.1
	無回答	1.1	4.3	0.0	0.0	0.0	1.5	3.5	2.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	6.1	8.3	2.6	0.0	0.0

【居住地域別】

- ・全ての地域（地区）で「広報たかやま」の割合の最も多くなっている。

2 媒体別の利用状況

- ・広報たかやまでは、「よく見る（聞く）」の割合が最も高い。
- ・ヒッツFMでは、「あまり聞かない」の割合が最も高い。
- ・ケーブルテレビでは、「見たこと（聞いたこと）がない」の割合が最も高い。

問5 あなたはどの程度、広報紙や市の情報番組を見て（聞いて）いますか。（あてはまる番号それぞれ1つに○印）

（ア）広報たかやま

	回答数（件）	回答率（％）
よく見る（聞く）	796	57.0
たまに見る（聞く）	412	29.5
あまり見ない（聞かない）	130	9.3
見たこと（聞いたこと）がない	39	2.8
無回答	19	1.4
計	1,396	

（標本数：1,396 件）

（イ）ケーブルテレビ（ハイ、市役所ですなど）

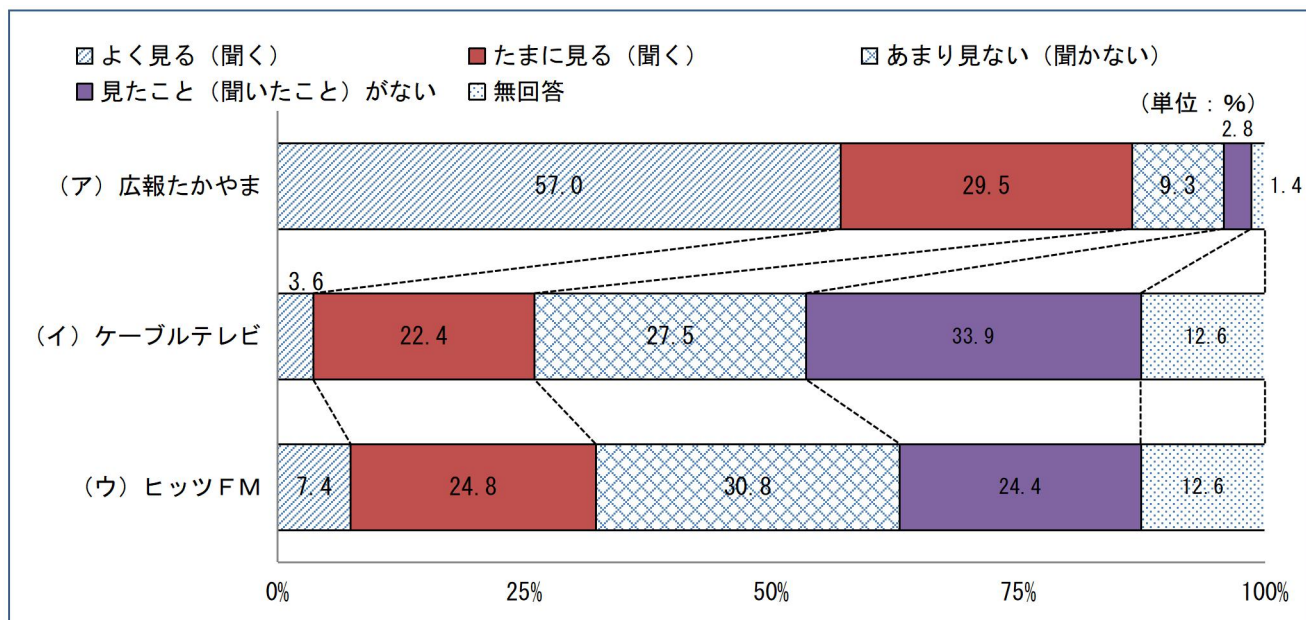
	回答数（件）	回答率（％）
よく見る（聞く）	50	3.6
たまに見る（聞く）	313	22.4
あまり見ない（聞かない）	384	27.5
見たこと（聞いたこと）がない	473	33.9
無回答	176	12.6
計	1,396	

（標本数：1,396 件）

（ウ）ヒッツFM（シティガイドなど）

	回答数（件）	回答率（％）
よく見る（聞く）	103	7.4
たまに見る（聞く）	346	24.8
あまり見ない（聞かない）	430	30.8
見たこと（聞いたこと）がない	341	24.4
無回答	176	12.6
計	1,396	

（標本数：1,396 件）



属性別集計（年齢別）

(単位：%)

			標本数 (件)	利用頻度 (%)				
				よく見る (聞く)	たまに見る (聞く)	あまり見ない (聞かない)	見たこと (聞いたこと)がない	無回答
年齢	広報たかやま	1 0 代・2 0 代	92	14. 1	55. 4	19. 6	10. 9	0. 0
		3 0 代	131	26. 7	40. 5	24. 4	7. 6	0. 8
		4 0 代	191	46. 6	37. 7	11. 5	3. 1	1. 0
		5 0 代	221	49. 3	37. 6	10. 9	1. 8	0. 5
		6 0 代	272	64. 7	26. 5	6. 3	1. 8	0. 7
		7 0 代以上	468	76. 7	16. 2	3. 6	0. 9	2. 6
	ケーブルテレビ	1 0 代・2 0 代	92	4. 3	18. 5	35. 9	40. 2	1. 1
		3 0 代	131	0. 0	26. 7	34. 4	37. 4	1. 5
		4 0 代	191	2. 1	30. 9	33. 0	30. 4	3. 7
		5 0 代	221	2. 3	17. 6	33. 5	41. 2	5. 4
		6 0 代	272	3. 3	21. 7	28. 7	35. 3	11. 0
		7 0 代以上	468	5. 8	20. 9	19. 4	29. 9	23. 9
	ヒッツFM	1 0 代・2 0 代	92	8. 7	18. 5	31. 5	40. 2	1. 1
		3 0 代	131	5. 3	24. 4	38. 2	30. 5	1. 5
		4 0 代	191	6. 3	31. 4	35. 6	24. 1	2. 6
		5 0 代	221	6. 8	26. 2	40. 3	22. 2	4. 5
		6 0 代	272	9. 9	30. 5	29. 4	20. 6	9. 6
		7 0 代以上	468	6. 8	19. 7	23. 9	23. 9	25. 6

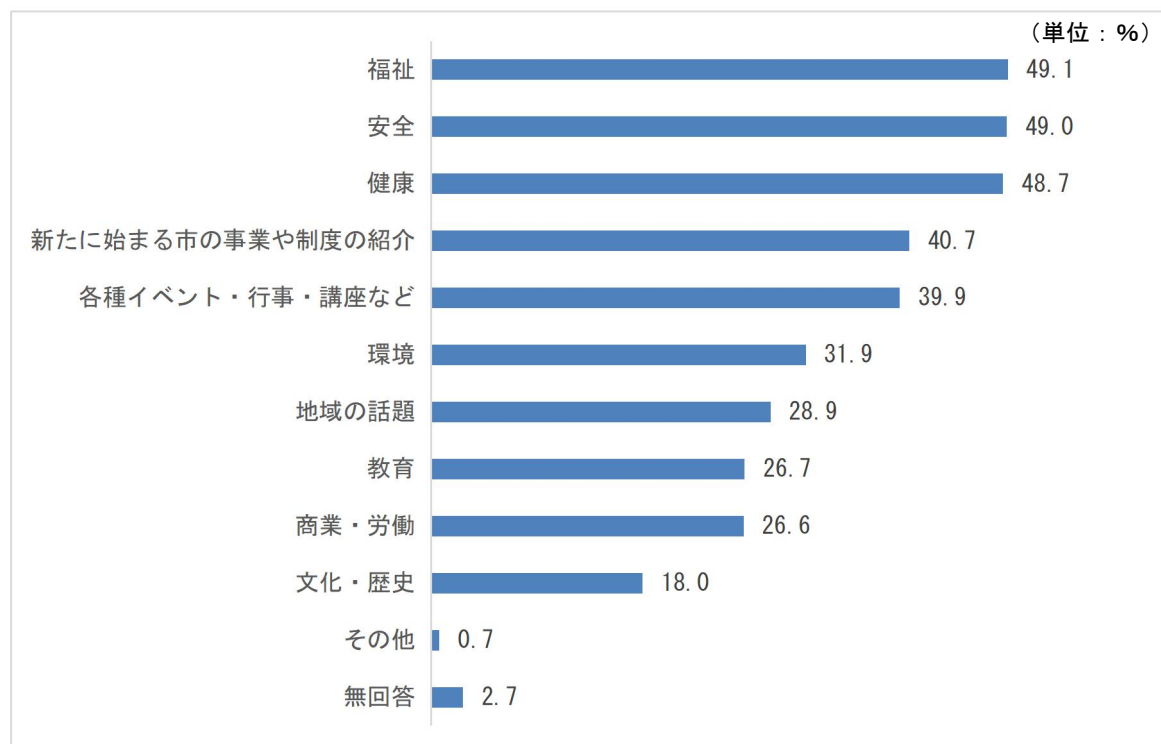
3 知りたい市の情報

- ・「福祉（介護、子育てなど）が最も高い割合となっており、次いで「安全（防災、防犯など）」、「健康（健康づくり、医療）」が高い割合になっている。
- ・「文化・歴史（文化芸術、伝統など）が最も低い割合となっており、低い順位から「商業・労働（地域経済、雇用など）」、「教育（学校教育、生涯学習、スポーツなど）」となっている。

問6 あなたが日頃、知りたい市の情報はなんですか。（あてはまるもの全てに○印）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)
1	福祉（介護、子育てなど）	686	49.1
2	安全（防災、防犯など）	684	49.0
3	健康（健康づくり、医療）	680	48.7
4	新たに始まる市の事業や制度の紹介（各分野）	568	40.7
5	各種イベント・行事・講座など	557	39.9
6	環境（自然環境、ごみなど）	445	31.9
7	地域のお話（名所・景勝地、活動の紹介など）	403	28.9
8	教育（学校教育、生涯学習、スポーツなど）	373	26.7
9	商業・労働（地域経済、雇用など）	371	26.6
10	文化・歴史（文化芸術、伝統など）	251	18.0
	その他	10	0.7
	無回答	37	2.7
	計	5,065	

（標本数：1,396 件）



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		1 0 代 ・ 2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	6 0 代	7 0 代 以 上
標本数（件）		92	131	191	221	272	468
知 り た い 市 の 情 報 （ ％ ）	福祉（介護、子育てなど）	40.2	61.8	46.1	44.3	54.8	47.2
	安全（防災、防犯など）	48.9	49.6	47.6	51.1	49.3	49.1
	健康（健康づくり、医療）	30.4	43.5	39.3	44.3	48.9	59.0
	新たに始まる市の事業や制度の紹介（各分野）	39.1	42.0	44.0	44.8	48.2	34.2
	各種イベント・行事・講座など	44.6	55.7	51.8	42.5	38.6	30.6
	環境（自然環境、ごみなど）	26.1	28.2	26.7	34.4	36.8	32.5
	地域（話題（名所・景勝地、活動の紹介など）	30.4	32.1	30.9	24.0	27.2	30.6
	教育（学校教育、生涯学習、スポーツなど）	32.6	51.9	48.2	25.8	22.4	13.7
	商業・労働（地域経済、雇用など）	37.0	35.9	31.4	33.9	32.7	13.7
	文化・歴史（文化芸術、伝統など）	20.7	19.8	17.8	13.6	18.8	18.8
	その他	1.1	0.8	0.5	0.5	0.4	1.1
	無回答	4.3	2.3	1.0	2.3	1.1	3.8

【年齢別】

- ・ 10代・20代、50代は「安全（防災、防犯など）」の割合が最も高い。
- ・ 30代、60代は「福祉（介護、子育てなど）」の割合が最も高い。
- ・ 40代は「各種イベント・行事・講座」の割合が、70代以上は「健康（健康づくり、医療）」の割合がそれぞれ最も高い。

4 広報全般への意見

問7 高山市の広報全般について、ご意見等がありましたらお書きください。

広報紙(広報たかやま)
・他の自治体のように全世帯に広報紙を届けて欲しい。新聞を購入していない世帯もある。
・広報たかやまは毎月隔から隔まで読んでいる。最近の広報はカラー写真も多く楽しい広報になっている。9月の表紙は「広報たかやま」だけで、takayama は要らないと感じ「広報たかやま」を大きくする。
・わかりやすい内容で全部がよく分からなくても、高山市のことが少しでもわかる時があるので読むのが楽しい。
・広報たかやまなど紙ベースのものはPDFなどの電子媒体で配布してもらいたい。配布が大変。
・広報たかやまについて、行政が伝えたい情報が定型的に載っているだけで、市民のほしい情報が伝わりやすく編集して載っている感じがしない。
・毎回楽しみに待っている。
・広報たかやまを月2回に戻してほしい。
・広報たかやまが、新聞とらないと配付されないのはおかしい。
・我が家には高山の広報誌が届いていません。最近、引っ越しをしたためと思われます。引っ越しをした際に、新しい住居にも広報誌が行き渡るようにしてほしい。
・広報を前みたいに1日と15日の月2回にしてほしい。
・高齢者はメールやヒットネットからの情報収集は難しい。広報たかやまはこれからも重要な情報獲得手段だと思うため、今後も広報誌の充実を期待する。
・月1回で充分である。
・広報たかやまはよく編集されている。広報たかやまを見ればとりあえずすべての情報が網羅されている、そういう広報誌であり続けてほしい。
・広報たかやまは以前より読みやすくなった。以前は文字ばかりで全く読まなかったが最近は出来るだけ読むようにしている。広報は知らせる事を目的にしているから難しいかもしれないが、プレスやさるぼぼ等の地域誌とコラボすれば楽しみが出来る。
・「広報たかやま」の「Takayama」はやめてほしい。日本に「Takayama」と書く市はない。伝統や文化を尊重して「高山」と書いてほしい。
・最近特に紙面づくりが良く、内容も充実しており良い。ただ予算、決算等行政用語等については、素人でも分かるよう丁寧な解説をお願いしたい。
・広報たかやまはよく見ている。これからも内容の濃い情報をお願いする。
・広報たかやまは見やすく内容も分かりやすいので助かっている。
・広報たかやま月1発行になってページ数が多くて読み難い。必要な時は15日号も出すといい。
・広報たかやまで市の情報を見ている。ネットが主となる時代だが、高齢者のためにも紙面での発行が続いていくことを願う。スーパーなどに置いていただくとより広がる情報になる。
・まちの情報が割と早く、分かりやすく広報されていると思う。身近な情報はとてもありがたい。(けれどコロナのせいで公共施設やお店が開いてないことが多く、残念)
・「広報たかやま」の内容が良く満足している。

・新聞をとってないので広報たかやまが見れないので不便です。何も分かりません。
・合併する以前(かみたから広報)は私たちの住む上宝の生活模様が身近に感じて良かった。
・広報が市役所で申し込みをしないと届かないことを知らなかった。周知してほしい。
・広報は今のところこれで良いのではないかな。
・広報たかやまの表紙を以前のようにしてほしい。現在のデザインは好ましくない。
・前回の様な月2回発行の方が情報の正確さがあるのではと思う。
・なるべく月末までに配布してほしい。
・市民全体に情報を伝えるためなら、高齢者のことも忘れず、広報誌を大切にしてほしい。SNSは便利であるが、高齢者が取り残されるなど平等に情報が伝わらない。アナウンスも助かっている。
・広報たかやまなど何でも横文字にするのが多すぎる。良い日本語であるので日本語で表紙等も作ることが良い。高年齢のためにも良い。
・広報たかやまをさるぼぼやブレスと協力すれば経費を少なくできないか？
・発行回数を増やして、新鮮な情報がほしい。
・年齢的にもインターネットなどに弱く、活字の広報紙が大切である。
・号外は、発行される度合いが少ないと感じる。内容が大変分かりやすいので多く発行してほしい。
・月に2回の定期発行は、1回に減しても良いと思う。非常時(コロナ等)は号外で対応すれば良い。
・広報たかやまは、月1回でページ数が多くなったのかえって見なくなった。今までどおり月2回発行のほうが良いと思う。
・何でもオンラインと済ませようとするが、インターネットをやってない人もいるので、広報などもお願いする。機械化が全てではない。
・広報たかやまの紙面作りは、見やすく、記事内容も良いと思う。また、今回のコロナ対応の臨時号の発行も良かった。この様に適宜に大切な事を知らせて頂きたい。

メール配信サービス

- ・市のメール配信サービスは結構便利で見やすいし、メールを見ることができる環境がある人ならだれでも見られると思うので、もっと配信サービスを広く周知するとよい。

SNS(LINE・Twitter など)

- ・LINEはワクチン接種にとっても役立った。コロナ情報などは毎日確認している。
- ・SNSでのお知らせは早く情報を知ることができるのでありがたい。テレビやラジオは自分は普段使わないのでもったいないと思いますが、他の多くの方にはそちらが主流なのではないかとも考える。
- ・公式LINEの更新頻度が多くありがたい。
- ・高山市公式youtubeはよく見る。
- ・LINE、Twitterなどの情報は若者達には良いと思うが、年配になってくると端末を操作することが大変になるので、市で年配者に向けての端末の講座などを手がけると良いと思う。

・LINE での情報提供があると良いかもしれない。
・SNS で配信していただける事がとてもありがたい。目にし易くなった。
・SNS での情報発信は早くてありがたい。

ホームページ(市公式ホームページなど)
・行政のホームページは、もう少し見やすいホームページだとありがたい。どうしても、階層を次へ次へと見に行くので、ページトップに近いところで、必要な情報があると良い。
・市のホームページにおくやみ情報をのせてほしい。年を取るにつれ、情報が入りづらくなっている。いつでもパソコンで確認できるようにしてほしい。飛騨市ではホームページにのっている。
・市のホームページで、以前答えが見つからず、他市のHPで情報を参考にしたことがあった。大きい都市のHPを参考に頑張ってもらいたい。
・高山市のホームページは見にくい。検索しにくい。見たいページ(情報)になかなかたどりつかない。

屋外放送(広報たかやまなど)
・放送が場所によって非常に聞きづらい。
・メール配信して頂いているので、満足である。広報たかやまの放送は相変わらず。聞き取りにくいです。
・広報たかやまの音声は室内にいと聞こえない。
・市内の放送が聞こえない。何を言っているか分からない。災害の時など必要な情報を得られないので、改善策を検討してほしい。
・防災無線をもっと活用してほしい。コロナ関係の情報がスマホ、ネット以外でも発信してほしい。
・放送が山に響いて聞こえにくい。
・広報たかやま等の情報を流すスピーカーの設置数をもう少し増やしてほしい。外にいても聞き取りにくい場所もあり、緊急情報の場合にはとても困る。
・広報たかやまの放送が、声が反響して何を言っているのか分からない。
・防災無線について、緊急事態情報が流れるが、各スピーカーの音声重複して何を言っているのか理解できない。各地設置スピーカーの方向、音量調整で対応してほしい。
・広報の市役所の呼びかけが全く聞こえないこともある。
・広報たかやまの放送が聞き取れないことが多々あるので、スピーカーの数を増やすなどの対策をしてほしい。
・スピーカーから流れる広報たかやまが聞きづらくて分からない。
・旧高山市内に設置してある広報のスピーカーが全く聞こえない(聞きにくい)。何を言っているのか分からない。音量を下げてでももっと多くの場所に設置してほしい。外にいるときに何を伝えているのか分からないので緊急放送時は役に立たない。
・広報たかやま(無線)が何を呼び掛けているのか聞き取りにくい。緊急時には役に立たない。早急に改善していただきたい。
・広報たかやまの放送が聞こえない。
・広報たかやまのお知らせの放送が聞きにくい。(エコーがかかる、間があきすぎる。声のトーンな

ど)聞き耳を立ててよく聞かないと分からないことが多い。何をしても自然に耳にできなければ効果は薄いと思う。
・防災無線による広報が、前は分かりやすかったが最近は少し早口になっている感じがする。
・広報たかやまは、まったく何を言っているのか聞き取れない。一度どのような感じで流れているのか(聞こえてくるのか)確認されたいかがか。
・防災行政無線は聞き取れないことが多く、役立っていない。
・広報たかやまの緊急時等の放送ですが、非常に聞き取りにくく、全く聞き取れない時もある。もう少し聞き取れるとよいが、何か良い方策はないものか。
・市の連絡広報が聞き取れない地域がある(こだま)。緊急時は困る。
・夕方 5 時のチャイムは、よく聞こえる。昼間でも時を知らせるリズムなどを流したら和むのではないか。緊急を知らせる音声は、こだまして聞きにくい。町内会の班に 1 つとか小分けして設置できたらいい。
・広報の音が聞きにくい。窓を開け、静かに聞かないとわからない。多くの人が感じている。災害があった時、市民全員が聞きやすいものにしてほしい。
・何を言ってるかわからない。同じ内容を同時にラインやメールで配信した方が良い。火事や大きい事故、災害箇所などは、だいたいの場所がわかるようにしてほしい。
・スピーカーからのお知らせは何を言っているかほとんど内容が分からない。何とかならないものか。
・以前、災害時の避難指示の無線の放送が全く聞き取れなかった。

知りたい情報
・高齢者の体力維持の施設や交流場所を PR して頂きたい。どこにどういった施設、また、申し込み方法など案内してほしい。
・支所地域単位での情報発信が不足している。
・元々住んでいないとどういう情報があるか分からないので、引っ越してきた際に情報の一覧があると良い。
・子どもの健康診断などの情報をもっと早く知らせしてほしい
・もっと母子家庭について支えになるような記事がほしい。スポーツにみんなが興味持てるように沢山載せてほしい。
・疾患で病院に通っているのに、コロナウイルスワクチン接種がまだできず、ワクチンセンターに問い合わせても対応が曖昧である。言い訳ばかりでうんざりする。
・高山市内の就職情報がもっと知りたい。
・高山市議会議員が普段どのような仕事をされているのか、高山市の発展のために行った実績を知りたい。
・市民の功績など、良いニュースを紹介していくと、シビックプライドがどんどん向上すると思う。
・各課の補助金やサービスなど、相談に行かないと分からない(聞かないと手続きしない)。しっかり知らせてほしい。
・各担当部署がそれぞれの得意な分野を活かして市民にとっても観光客にとってもより分かりやすく役に立つ情報を発信してもらえるとうれしい。
・コロナの情報をもうすこし分かりやすく早く案内してほしい。

・結果中心の記事ではなく、先をみる記事が多くほしい。
・コロナの予防接種などの情報をもっと詳しく、早く知りたい。まだ受けてない人もたくさんいる。
・ワクチン接種予約の整備やコロナ感染情報の充実化が必要である。(コロナ禍で市民は怯えている。感染予防対策の強化により安心した生活環境を取り戻し、その成果により市民は活性化して市政によるまちづくりが実現すると考える。)
・昨年の春からコロナの影響によりイベントの中止が相次いでいる。インターネットやスマートフォンを持っていないため広報たかやまやヒッツ FM で見たり聞いたりしている。市内の雇用状況の発信にも取り組んでほしい。
・広報は毎回見ているが、現在はコロナ情報などについて、もう少し情報を出してもらいたい。
・補助、援助、保償など、市関係のほか、国、県の情報をもっと入れてほしい。
・オリンピックによる休日の移動について 国民全員に関係するのに、当日になっても気付かなかった。ものすごく大切な事だと思うので、他の事も(コロナ関係等)早め早めに重ねて教えてほしい。
・減税を心掛けていただきたい。市は身近に感じるが県の姿がよく見えない。県税について説明や特集をしてほしい。

その他
・多方面にわたる記事を毎掲載してくださりありがたい。
・市の防災ラジオを全世帯に無料で配布をしてほしい。
・そもそもよく知らないことが多い。
・デザイン等を高山市(または飛騨地域)以外に委託するのは、極力減らすべきだ。
・素晴らしい取り組み、いつもありがとう。
・いつも、多方面にわたり情報提供していただき、とても満足している。
・コロナ禍における高山市の情報公開のあり方には、正直失望した。
・ケーブルテレビに契約しておらず、地元のケーブルテレビを見ることがない。ラジオの方が多くの人が情報を得やすいと思う。
・広報誌は旧高山市内・支所地域を分けるなどしたほうが見やすい。行政情報(周知事項)と事業関連・行事報告をもっと明確に分ける。紙面は災害時広報のあり方に課題あり。屋外放送はほぼ役立たない。豪雨時や冬期は防災ラジオの普及に積極的に取り組むのか、他の方式なのか方針が不明確である。考え方がケーブルの光化等民間事業者に追い付いていない。必要な場合は、今回のコロナ特別広報のようにもっと臨時広報を多用すべき。
・広く、細部にわたって広報されていて理想的である。
・どこの行政機関でもスムーズに、誠実に対応してくださる。いつもありがとうございます。
・新聞やテレビなど広告媒体を活用すべき。
・大きい字で読みやすく。
・いつも親切に分からないことを教えていただいている。
・少し文字が多くなり、見にくくなった気がする。
・ゴミについて、新聞を取ってない家にはどうやって知らせているのか。可燃ゴミの所に不燃ゴミ、缶収集など置いている人がいる。
・内容がマンネリ化しているので、創意工夫を大胆にしてほしい。

・防災ラジオを熊情報だけでなく、今だったらコロナのことを知らせてほしい。
・「ハイ、市役所です」をもっと市民の生活実態に合った企画にしてほしい。
・ケーブルがきていないため、ケーブルテレビが見えない地域がある。そういうところなくなるよう努力してもらいたい(古い町並み)。メジャーな放送局はNTTを通じて入っているが、市の番組を見ることはできないのではないかな。
・年齢が高くなりあまり実感がしない。
・以前より分かりにくくなったと思う(特に高齢者の方など)。イメージなど一新し努力されていると思う。
・支所での対応は、その地区の職員が行ってほしい。
・県外への情報発信を拡大したらどうか(観光・農産物・工芸品・イベントなど)。
・満足である。
・広報は来ないし、ケーブルテレビも契約していないので見ることができない人も多数いるのではないかなと思う。
・コロナ禍の中、担当者の方々、お疲れ様です。
・飛騨高山の良い所をもっと全国に発信してほしい。
・スマートフォンやPCを使える人達は情報が入りやすいが、それを使えない世代や独居の人への情報提供を考えてほしい(新聞をとってない人もいる)。
・高齢者の施設の入所や高齢者が多いなか、施設の値段や市外からの入所について考えてほしい
・防災ラジオでは、両隣の地区は避難指示が出ているのに間に挟まれた私の地区は指示が出ていなかった。決める基準何か。
・月日が決まっており仕事の合間にできないので、もっと気軽にできる健康づくりの機会を増やしてほしい。
・コロナ禍が2年目に入り、出口の見えないまま1日1日がモンモンと過ぎている今日この頃、感染対策に気を付けながらストレスが高まりつつも守らなければならないし、楽しみにしていたイベントも中止ばかりである。
・私の住んでいる場所は高齢者が多く、この先どうなるのだろうと不安もあるが、近隣同士仲良くやっていけたらいいと思う。
・住みやすいまちづくりを期待する。